# 総食だはり

12月に入り、本格的に寒くなってきました。これからの季節は、体が体温を保つために沢山のエネルギーを必要となります。規則正しい生活とバランスのとれた食事、そして適度な運動を心掛けて過ごしましょう。体の中から元気になるためには、やはり食事が大きく関わってきま



でよったからだ 強い体をつくるためには、体の免疫力や抵抗力を高めることが大切です。それには、自分 の年齢や性別に見合ったエネルギーを確保するために、まず3食をしっかり食べましょう。そして栄養バランスのよい食事に加え、ビタミン類をしっかりとることが大切です。色の濃い野菜に多く含まれるビタミンAには、皮膚や粘膜を強くしたり目の健康に役立ったりする働きがあります。また、果物に多く含まれているビタミンCは体の抵抗力を高めてくれます。

# 12月21日は「冬至」です

冬至とは、1年で一番昼が短くなる日のことです。この日は、昔からゆずをお風呂に浮かべた「ゆず湯」に入って、南瓜を食べる風習があります。南瓜は夏に収穫される夏野菜ですが、ほぞんぼしょ。 ないできます。 ないできます。 寒い季節は野菜があまり育た保存場所に気をつければ、冬まで長持ちさせることができます。 寒い季節は野菜があまり育たず、ビタミン不足になりがちです。 昔の人たちは、冬至の日にビタミンたっぷりな南瓜を食べると「風邪をひきにくくなる」とか「大きな病気をしない」などの経験から学び、言い伝えてきたのです。これから先の未来にも伝えたい知恵ですよね。

### きゅうしょくさいしゅうび 給 食 最終日のデザートは 苺 とチョコのどちらかを選べます

12月20日のデザートは箱入りのケーキです。

事前に「苺かチョコのどちらがよいか」と聞いています。見本を展示するとともに、HAPPY
HAPPY委員会の児童が作ってくれた、可愛いポスターも掲示しました。低学年は苺が、高学年



## センスのある色使いに脱帽!

はチョコが多く選ばれ、最終的に苺80個・チョコ110個の注文をしました。

#### 





いわつきねぎ (じおんじねぎ)

近年、岩槻区が力を入れているヨーロッパ野菜も良いですが、昔から地域に根差している伝統野菜も大切な「食の教材」です。12月11日に4年生の教材として「くわい」が教室に登場します。よく観察した後は
をゅうしょく たっしょく 給食で実食します。この日のメニューは「くわいの素揚げ」で、ホクホクした食感が楽しめます。

だけでなく、グラタンなどに入れても美味しいです。

#### がつ にち きゅうしょく べんとう 10月28日の給 食はお弁当スタイルでした

がいており はん かつどう 縦割り班で活動するために、持ち運びしやすいように工夫 しました。おかずを入れるパックは、8・9月号で紹介した しまった。 はい もの ゆうこうかっよう 「非常用食料」に入っていた物を有効活用しました。

